

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月14日

上場会社名 藤倉コンポジット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5121 URL <https://www.fujikuracomposites.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 健司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 秀剛 (TEL) 03-3527-8111
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	29,275	△8.5	1,172	31.5	1,557	86.9	1,182	202.6
2020年3月期	31,999	△4.3	891	△2.8	833	△0.6	390	△32.7

(注) 包括利益 2021年3月期 1,286百万円(—%) 2020年3月期 △37百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	50.56	—	4.8	4.5	4.0
2020年3月期	16.71	—	1.6	2.3	2.8

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	34,858	24,819	71.2	1,060.81
2020年3月期	35,626	23,813	66.8	1,017.81

(参考) 自己資本 2021年3月期 24,819百万円 2020年3月期 23,813百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,129	△1,374	△1,449	5,780
2020年3月期	2,719	△2,169	△96	5,528

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00	327	83.8	1.4
2021年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00	280	23.7	1.1
2022年3月期(予想)	—	10.00	—	8.00	18.00		30.1	

(注) 2022年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 記念配当 2円00銭

配当の状況に関する注記

当社は2021年10月25日をもって創立120周年となることから、2022年3月期第2四半期末配当金にて2円の記念配当を予定しております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,000	11.9	400	179.4	400	40.5	200	△0.1	8.55
通期	31,000	5.9	1,100	△6.2	1,100	△29.4	1,200	1.5	51.29

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 一社（社名） 一、除外 一社（社名）藤栄産業株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年3月期	23,446,209株	2020年3月期	23,446,209株
2021年3月期	49,537株	2020年3月期	49,445株
2021年3月期	23,396,695株	2020年3月期	23,396,794株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	20,095	△3.0	581	157.7	1,322	97.3	1,246	220.8
2020年3月期	20,710	△5.0	225	△28.6	670	△19.4	388	△47.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	53.27		—					
2020年3月期	16.61		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年3月期	29,839		21,198		71.0	906.04		
2020年3月期	29,545		20,081		68.0	858.29		

(参考) 自己資本 2021年3月期 21,198百万円 2020年3月期 20,081百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大による経済活動の急速な停滞の影響を受け、極めて厳しい状況となったものの、一時は持ち直しの動きも見られました。しかし、2020年11月以降に感染症の再拡大が見られ、先行きについては不透明なまま推移しております。個人消費につきましても、感染症再拡大の兆しにより、回復にはさらに時間を要すると考えられます。今後はワクチン接種の開始や各種政策により景気回復へ向かっていくことが期待されますが、感染症収束の見通しは不透明で、感染症発生前の水準への回復は業種・業態や地域ごとに時期に差が生じると考えられます。

当社グループでは、2020年4月に組織体制を本部制から事業部制に変更し、事業の縦軸を強化し事業の拡充及び事業損益の追求に努めております。

当連結会計年度の売上高は292億7千5百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は11億7千2百万円（前年同期比31.5%増）、経常利益は15億5千7百万円（前年同期比86.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<産業用資材>

工業用品部門は、住宅設備機器関連は堅調に推移しました。自動車関連は、国内において上期受注が低迷したことと厳しい見通しとなりましたが、中国・北米市場が牽引し回復基調となりました。ただし、コロナ禍の影響が残るASEAN地域が停滞するなど回復途上であり、全体では減収減益となりました。制御機器部門は、半導体・液晶市場の設備投資が好調を維持し、また、医療機器市場も堅調に推移し増収増益となりました。

この結果、売上高は190億1千7百万円（前年同期比7.5%減）、営業利益は3億8千万円（前年同期比24.9%減）となりました。

<引布加工品>

引布部門は、第3四半期以降音響関連が好調だったものの、コロナ禍の影響を受け自動車・電気電子部門が大幅減産を余儀なくされ、減収減益となりました。印刷材料部門は、コロナ禍の影響を世界的に受け減収減益となりました。加工品部門は、国内船用市場や産業用資材関連で受注低迷の影響がありましたが、救命設備など海外向け船用用品が堅調に推移し、減収増益となりました。

この結果、売上高は42億3百万円（前年同期比18.3%減）、営業利益は3千9百万円（前年同期比73.0%減）となりました。

<スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、2020年7月以降ゴルフ市場が大きく回復し始め、さらに北米モデル『VENTUS』と日本モデル『Speeder EVOLUTION VII』が多くのプロゴルファーに使用されることにより自社ブランド商品の販売が好調に推移し、ゴルフ市場における高いシェアを維持した事により増収増益となりました。アウトドア用品部門は、昨秋から需要の回復傾向が見られたものの、大都市圏で度重なる緊急事態宣言等の発出の影響を受け、減収減益となりました。

この結果、売上高は56億8千6百万円（前年同期比3.5%減）、営業利益は12億3千8百万円（前年同期比84.9%増）となりました。

<その他>

物流部門は、倉庫関係の運用は堅調でしたが、運送部門は第3四半期以降回復傾向となったものの、コロナ禍の影響が大きく減収減益となりました。

この結果、売上高は3億6千7百万円（前年同期比6.1%減）、営業利益は7千5百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産は前連結会計年度末に比べ7億6千8百万円減少の348億5千8百万円となりました。たな卸資産が減少したことなどにより流動資産が9千4百万円減少し、コロナ禍の影響で設備投資を抑制したことなどにより固定資産が6億7千4百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は前連結会計年度末に比べ17億7千4百万円減少の100億3千8百万円となりました。借入金の返済を進めたことなどにより、流動負債が7億9千8百万円減少、固定負債が9億7千6百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は前連結会計年度末に比べ10億6百万円増加の248億1千9百万円となりました。当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.8%から71.2%に上昇いたしました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における「現金及び現金同等物」（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2億5千1百万円増加し（前年同期比4.6%増）、57億8千万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は31億2千9百万円となりました。これは主に「税金等調整前当期純利益」を15億2千5百万円及び「減価償却費」を14億1千4百万円計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は13億7千4百万円となりました。これは主に「有形固定資産の取得による支出」14億1千1百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は14億4千9百万円となりました。これは主に「長期借入金の返済による支出」9億3千万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	70.3	68.3	68.0	66.8	71.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	48.9	50.6	28.6	23.2	40.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.5	1.7	4.1	1.9	1.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	90.4	84.9	64.8	152.2	197.4

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の経済見通しについては、新型コロナウイルス感染症の世界経済への影響継続及び材料供給不足が懸念され、先行きは予断を許さない状況です。わが国経済においては、ワクチン接種の開始や各種政策により景気回復へ向かっていくことが期待されますが、感染症収束の見通しは不透明で、感染症発生前への水準への回復時期は業種・業態や地域ごとに差が生じると考えられます。

現時点における2022年3月期の通期の連結業績予想は、売上高310億円、営業利益11億円、経常利益11億円と予想しております。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、当社に対する支払いとして経済産業省の「自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金」6億円を目論み、通期で12億円を予想しております。なお、為替レートは1米ドル=105円を想定しております。

また、当社グループは株主の皆様への利益還元について、中長期における事業の持続的な成長を支えるための原資として内部留保を確保した上で、配当性向、株主資本配当率などを勘案しながら安定配当することを基本方針としております。2022年3月期の配当については、当社は2021年10月25日に創立120周年を迎えるにあたり、その記念として中間配当時に2円の記念配当を実施する予定としております。よって、2021年3月期の1株当たり年間配当は12円（中間5円＋期末7円）だったところ、2022年3月期は1株当たり年間配当金は18円（中間8円＋記念配当2円、期末8円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性等を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,528,810	5,780,151
受取手形及び売掛金	9,390,399	9,698,550
商品及び製品	2,236,807	1,854,488
仕掛品	2,376,408	2,174,461
原材料及び貯蔵品	700,226	695,685
その他	628,188	557,311
貸倒引当金	△59,512	△53,454
流動資産合計	20,801,328	20,707,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,153,594	12,027,122
減価償却累計額	△6,836,877	△7,103,652
建物及び構築物（純額）	5,316,716	4,923,469
機械装置及び運搬具	17,214,550	17,571,040
減価償却累計額	△13,917,198	△14,297,312
機械装置及び運搬具（純額）	3,297,352	3,273,728
土地	3,215,856	3,195,875
建設仮勘定	131,590	104,038
その他	4,990,913	4,309,381
減価償却累計額	△4,045,604	△3,689,128
その他（純額）	945,309	620,253
有形固定資産合計	12,906,825	12,117,365
無形固定資産		
ソフトウェア	145,066	96,516
その他	29,580	27,190
無形固定資産合計	174,646	123,707
投資その他の資産		
投資有価証券	1,011,885	1,219,023
長期貸付金	325,179	330,157
繰延税金資産	34,167	11,875
その他	1,610,746	1,591,132
貸倒引当金	△1,238,379	△1,242,426
投資その他の資産合計	1,743,599	1,909,761
固定資産合計	14,825,071	14,150,833
資産合計	35,626,400	34,858,028

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,131,420	2,044,873
短期借入金	3,886,890	3,516,967
未払法人税等	75,859	234,625
賞与引当金	443,227	363,403
その他	2,242,360	1,821,711
流動負債合計	8,779,758	7,981,580
固定負債		
長期借入金	1,415,000	560,000
繰延税金負債	302,199	418,846
環境対策引当金	29,513	29,513
退職給付に係る負債	1,004,245	786,132
資産除去債務	151,433	147,258
その他	130,808	115,213
固定負債合計	3,033,200	2,056,964
負債合計	11,812,958	10,038,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	16,774,056	17,676,139
自己株式	△20,438	△20,473
株主資本合計	23,770,401	24,672,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,436	316,979
為替換算調整勘定	120,302	△82,564
退職給付に係る調整累計額	△242,699	△87,381
その他の包括利益累計額合計	43,040	147,033
純資産合計	23,813,441	24,819,483
負債純資産合計	35,626,400	34,858,028

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	31,999,308	29,275,488
売上原価	24,615,362	22,687,824
売上総利益	7,383,946	6,587,664
販売費及び一般管理費		
荷造運送費	485,909	469,806
給料及び手当	2,241,116	2,100,270
福利厚生費	477,302	445,923
旅費及び通信費	288,826	112,709
減価償却費	158,460	157,480
保管賃借料	235,087	235,775
研究開発費	813,446	363,840
貸倒引当金繰入額	24,101	△9,300
その他	1,768,143	1,539,014
販売費及び一般管理費合計	6,492,395	5,415,520
営業利益	891,550	1,172,144
営業外収益		
受取利息	13,971	24,870
受取配当金	43,843	37,026
為替差益	—	51,586
受取賃貸料	56,742	52,689
補助金収入	7,129	126,424
債務取崩益	—	62,534
その他	82,457	123,384
営業外収益合計	204,145	478,516
営業外費用		
支払利息	17,868	15,851
為替差損	142,605	—
賃貸収入原価	8,350	8,999
固定資産除却損	17,863	14,744
貸倒引当金繰入額	11,274	—
その他	64,408	53,347
営業外費用合計	262,371	92,943
経常利益	833,324	1,557,717
特別利益		
補助金収入	1,173	—
特別利益合計	1,173	—
特別損失		
固定資産廃棄損	10,062	—
固定資産除却損	—	19,453
関係会社株式評価損	3,000	—
減損損失	12,335	12,640
特別調査費用等	231,119	—
特別損失合計	256,517	32,093
税金等調整前当期純利益	577,979	1,525,624
法人税、住民税及び事業税	169,697	333,223
法人税等調整額	17,422	9,556
法人税等合計	187,120	342,780
当期純利益	390,859	1,182,844
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	390,859	1,182,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△96,660	151,543
為替換算調整勘定	△260,701	△202,867
退職給付に係る調整額	△70,570	155,317
その他の包括利益合計	△427,932	103,993
包括利益	△37,073	1,286,837
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△37,073	1,286,837

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,804,298	3,212,485	16,710,752	△20,398	23,707,137
当期変動額					
剰余金の配当			△327,555		△327,555
親会社株主に帰属する当期純利益			390,859		390,859
自己株式の取得				△39	△39
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	63,304	△39	63,264
当期末残高	3,804,298	3,212,485	16,774,056	△20,438	23,770,401

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	262,096	—	381,004	△172,128	470,972	24,178,109
当期変動額						
剰余金の配当						△327,555
親会社株主に帰属する当期純利益						390,859
自己株式の取得						△39
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△96,660	—	△260,701	△70,570	△427,932	△427,932
当期変動額合計	△96,660	—	△260,701	△70,570	△427,932	△364,668
当期末残高	165,436	—	120,302	△242,699	43,040	23,813,441

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,804,298	3,212,485	16,774,056	△20,438	23,770,401
当期変動額					
剰余金の配当			△280,760		△280,760
親会社株主に帰属する当期純利益			1,182,844		1,182,844
自己株式の取得				△34	△34
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	902,083	△34	902,048
当期末残高	3,804,298	3,212,485	17,676,139	△20,473	24,672,450

	その他の包括利益累計額					純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	165,436	—	120,302	△242,699	43,040	23,813,441
当期変動額						
剰余金の配当						△280,760
親会社株主に帰属する当期純利益						1,182,844
自己株式の取得						△34
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	151,543	—	△202,867	155,317	103,993	103,993
当期変動額合計	151,543	—	△202,867	155,317	103,993	1,006,041
当期末残高	316,979	—	△82,564	△87,381	147,033	24,819,483

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	577,979	1,525,624
減価償却費	1,373,719	1,414,398
減損損失	12,335	12,640
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14,561	△17,981
賞与引当金の増減額 (△は減少)	10,374	△78,589
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,003	5,909
受取利息及び受取配当金	△57,814	△61,897
支払利息	17,868	15,851
為替差損益 (△は益)	113,688	△142,185
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,000	—
固定資産除却損	27,926	34,197
売上債権の増減額 (△は増加)	833,365	△336,489
たな卸資産の増減額 (△は増加)	113,980	542,708
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	70,706	85,766
仕入債務の増減額 (△は減少)	△393,103	△58,425
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	78,857	158,797
その他	76,982	171,371
小計	2,836,299	3,271,697
利息及び配当金の受取額	57,858	61,892
利息の支払額	△17,782	△15,851
法人税等の支払額	△157,247	△187,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,719,128	3,129,903
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	—	50,045
有形固定資産の取得による支出	△1,888,271	△1,411,807
無形固定資産の取得による支出	△25,646	△13,690
投資有価証券の取得による支出	△140,202	△209
その他の投資による支出	△17,585	△1,466
その他の投資の回収による収入	36,488	10,432
貸付けによる支出	△150,000	△29,000
貸付金の回収による収入	15,364	21,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,169,853	△1,374,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,205,210	△212,284
長期借入金の返済による支出	△945,000	△930,000
自己株式の取得による支出	△39	△34
配当金の支払額	△327,950	△280,889
リース債務の返済による支出	△28,625	△26,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,405	△1,449,726
現金及び現金同等物に係る換算差額	△112,546	△54,463
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	340,323	251,340
現金及び現金同等物の期首残高	5,188,487	5,528,810
現金及び現金同等物の期末残高	5,528,810	5,780,151

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの報告セグメントの区分方法は、製造方法・製造過程並びに使用目的及び販売方法の類似性を考慮して区分しており、「産業用資材」、「引布加工品」、「スポーツ用品」及び「その他」の4つを報告セグメントとしております。

「産業用資材」は、工業用精密ゴム部品、空圧制御機器、電気絶縁材料及び電気接続材料等を製造販売しております。「引布加工品」は、印刷用ブランケット、各種加工品及び各種ゴム引布を製造販売しております。「スポーツ用品」は、ゴルフ用カーボンシャフトの製造販売及びシューズ、ウェアなどのアウトドア用品の販売をしております。「その他」は、物品の輸送及び保管サービスをしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計方針に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	産業用資材	引布加工品	スポーツ用品	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	20,568,962	5,148,532	5,890,859	390,953	31,999,308
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	109,432	109,432
計	20,568,962	5,148,532	5,890,859	500,386	32,108,741
セグメント利益	506,702	145,607	669,929	82,678	1,404,916
セグメント資産	21,492,511	4,008,465	4,666,073	242,032	30,409,083
その他の項目					
減価償却費	1,066,734	149,297	118,621	27,303	1,361,956
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,705,916	378,856	334,886	24,085	2,443,744

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	産業用資材	引布加工品	スポーツ用品	その他	
売上高					
外部顧客への売上高	19,017,866	4,203,800	5,686,632	367,189	29,275,488
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	103,827	103,827
計	19,017,866	4,203,800	5,686,632	471,016	29,379,316
セグメント利益	380,766	39,285	1,238,887	75,259	1,734,199
セグメント資産	20,613,213	3,596,657	4,536,406	240,069	28,986,347
その他の項目					
減価償却費	1,084,859	157,441	138,250	23,298	1,403,849
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	607,475	111,291	125,075	15,353	859,196

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,404,916	1,734,199
セグメント間取引消去	438	565
全社費用(注)	△513,804	△562,619
連結財務諸表の営業利益	891,550	1,172,144

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	30,409,083	28,986,347
セグメント間取引消去	△346,386	△349,163
全社資産(注)	5,563,703	6,220,845
連結財務諸表の資産合計	35,626,400	34,858,028

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない土地建物であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費(注1)	1,361,956	1,403,849	11,762	10,548	1,373,719	1,414,398
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額(注2)	2,443,744	859,196	53,576	18,047	2,497,320	877,244

(注) 1 減価償却費の調整額は、主に当社の建物及び機械装置の減価償却費であります。

2 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に当社の建物及び機械装置の設備投資額であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,017円81銭	1,060円81銭
1株当たり当期純利益	16円71銭	50円56銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	390,859	1,182,844
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益(千円)	390,859	1,182,844
期中平均株式数(株)	23,396,794	23,396,695

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

以上